

CASBEE® 名古屋

■ 使用評価マニュアル: CASBEE 評価指針2016年版、名古屋市環境総合性能評価マニュアル2016

評価結果

使用評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	総合上飯田第一病院 北館	階数	地上5F
建設地	愛知県名古屋市北区上飯田北町二丁目67、他10筆	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	175 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,600 時間/年(想定)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2028年8月 予定	評価の実施日	2025年12月4日
敷地面積	3,747 m ²	作成者	
建築面積	1,524 m ²	確認日	2025年12月4日
延床面積	5,773 m ²	確認者	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)			
BEE = 0.9 ★★		30%: ★★★★★ 60%: ★★★★ 80%: ★★★ 100%: ★★ 100%超: ★		Q2 サービス性能			
S: ★★★★★ A: ★★★★ B: ★★★ B+: ★★ C: ★		標準計算		Q1 室内環境			
				Q3 室外環境 (敷地内)			
		このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物（参照値）と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したものです。		LR1 エネルギー			
2-4 中項目の評価(バーチャート)		Q のスコア = 2.8		LR3 敷地外環境			
Q 環境品質							
Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境 (敷地内)			
LR 環境負荷低減性		Q3 のスコア = 2.2		LR のスコア = 3.0			
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境			
3 設計上の配慮事項							
総合			その他				
省エネ及びバリアフリーに配慮した計画とした。							
Q1 室内環境		Q2 サービス性能		Q3 室外環境 (敷地内)			
室内仕上げ材は全てF★★★★としている。		耐用年数の長い配管材や内装材を利用して、長寿命化に配慮している。		室外機等機械設備の50%以上をGL+10m以上に設置することで、歩行空間の暑熱環境に配慮している。			
LR1 エネルギー		LR2 資源・マテリアル		LR3 敷地外環境			
LED照明により、設備システムの高効率化に配慮している。		自動水栓や節水型便器などにより、節水に配慮している。		適切な駐車スペースの確保に配慮している。			

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート

総合上飯田第一病院 北館

- 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル
- 評価ソフト: CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目	評価	全体に対する重み係数	重点項目スコア
1. 温暖化対策			3.2
LR1 エネルギー	3.3	0.4	
LR3.1 地球温暖化への配慮	3.6	0.1	
LR3.2.2 溫熱環境悪化の改善	2.0	0.05	
2. 自然共生			1.3
Q3.1 生物環境の保全と創出	1.0	0.09	
Q3.3.1 地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2 まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2 敷地内温熱環境の向上	2.0	0.045	
3. 循環型社会			2.9
LR2.1 水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2 非再生性資源の使用量削減	2.8	0.18	
LR3.2.3 地域インフラへの負荷抑制 ※2	2.3	0.01875	

結果

1. 温暖化対策

評価点 = 3.2



2. 自然共生

評価点 = 1.3



3. 循環型社会

評価点 = 2.9



重点項目のスコアは以下のように算出している。

$$\text{重点項目スコア} = \frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。